

桜島大正大噴火と鹿屋とのかかわり

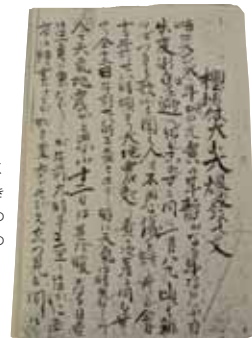
年月日	出来事
大正 3	1月12日 桜島大噴火、夕方には桜島を震源とするマグニチュード7.1の地震発生
	1月12日以降 東桜島村、垂水村、牛根村等からの避難者を各地で受け入れ
	2月 8日 高隈村・百引村で桜島大噴火に伴う土石流、河川氾濫
	3月 桜島大噴火に伴う洪水で林田堰（串良町細山田）が破壊
	3月 6日 高隈村・百引村で土石流・河川氾濫
	3月 8日～9日 高隈村・百引村・西串良村で土石流や洪水発生
	3月23日 百引村・市成村で土石流・河川氾濫
	4月 1日 岳野分教場（岳野小学校の前身）、桜島大噴火に伴う移転者が続出し休校
	5月 林田堰復旧工事着工
	5月 6日 桜島から花岡村北野（花里）への移住開始（～16日）
	8月 桜島大噴火に伴う串良川改修のため「東串良村西串良村連合組合」発足
大正 4	5月29日 串良川改修工事着工（完成まで5回の改修工事）
	6月 串良川で洪水、十数か所の堤防決壊
大正 5	8月 桜島大噴火に伴う復旧及び河川改修対策として「堂籠耕地整理組合」発足
大正 6	2月15日 岳野分教場が再開
	6月 串良川の堤防決壊
	6月 堂籠川で洪水、堤防決壊
大正 11	11月 林田堰に新水門設置
大正 12	6月 串良川改修工事完成
大正 13	5月 桜島大噴火で荒廃した笠野原の耕地整理着工
昭和 4	7月 1日 大洪水で林田堰が再び破壊
	7月 堂籠川で洪水、数十か所の堤防決壊
昭和 5	3月 林田堰改築竣工
昭和 6	11月15日 花里の水道敷設工事着工
昭和 7	3月18日 花里の水道敷設工事竣工
昭和 9	8月 笠野原耕地整理工事竣工

※青字は桜島大噴火に伴う河川災害関連。記載したものは主なもので、これ以外にも桜島大噴火由来の河川災害は何度も起きています。

助け合う精神は、いつの時代でも同じ。「鹿屋市史」によれば、大正3年1月18日時点で、東桜島村・垂水村・牛根村から、鹿屋町に1,010人、花岡村に450人、大始良村に165人、高隈村に162人の一時避難者を、学校や寺院、夜学舎で受け入れたとあります。

また、西串良村（現在の串良町）では、串良小学校を開放し、30戸・数十人を受け入れ、村民が炊き出しをするなど献身的に世話をしたとされ、市成村でも700人以上の避難者を受け入れるなど、各地で避難者の救援が行われました。

市成村の久木野々青年団の団長が記した記録「桜島休火山大噴火の文」



避難者を受け入れたとはいえ、市成村もまた大きな被害を受けた地。記録には、自分たちの村の被害に落胆しながらも、前を向いて働いていこうとする地元若者たちの意気込みも記されています。

各地で避難者を献身的に救援

桜島大正大噴火の記録を残す記念碑

- 爆発碑
- 耕地整理碑
- 河川等改修碑
- 移住碑



2 桜島大爆発記念碑
(輝北町市成・上沢津公民館)
大噴火から6年後の大正9年1月12日に地元青年団が建立。



3 桜島爆発記念碑
(輝北町上百引・愛宕)
建立時期は不明。「遠矢氏」の書とある。



4 河川改修記念碑
(輝北町下百引・坂下橋付近)
堂籠川の堤防が、大噴火後に起きた洪水で決壊。大正4年の改修工事着工以降、何度か洪水に遭いながらも昭和6年完成。昭和7年6月建立。



1 記念碑 (輝北町上百引・岳野小学校跡)
大正15年3月に、百引岳野と牛根岳野が共同で建立。大噴火後、両岳野全体の世帯数が一時5分の1になったとされる。



5 復旧工事記念碑
(上高隈町・重田橋付近)
降り積もった軽石や火山灰で、大正6年にも大洪水が起きた。復旧工事の完成に伴い、昭和10年4月に建立された。

6 城山隧道碑
(上高隈町・高隈城跡)
大噴火後に起きた洪水で、隧道に土砂が流入したため、新たに掘削。大正4年8月建立。

12 13 14 笠野原耕地整理記功碑
(12)下高隈町・高隈駐在所隣
(13)笠之原町・玉山神社参道
(14)串良町有里・大塚山公園)

近代以前から水不足で開拓が進まなかった笠野原は、大噴火がさらに追い討ちをかけ荒廃。大正13年5月着工、昭和9年8月竣工。いずれも碑文は同じ内容で、昭和10年4月建立。
※写真は13



11 串良川改修記念碑
(東串良町・豊栄橋左岸)
大噴火で串良川の源流部が荒れ、土石流や洪水が頻発。西串良村と東串良村が連合組合をつくり改修。大正6年6月建立。



10 新水門碑・堰築築碑
(串良町細山田・井手神社)
林田堰の新水門碑は大正11年11月、堰築築碑は昭和5年5月に建立。



9 耕地整理記念碑 (串良町細山田・生栗須公民館付近)
大噴火後の洪水で水田が一夜にして「白浜」と化したとある。堤防修復ののちに耕地整理実施。大正6年3月建立。



8 堤塘工事記念碑
(下高隈町・観音淵)
洪水で堤防が決壊したため、耕地が「砂漠」と化したとある。

学ぶ 桜島大噴火

鹿屋市防災シンポジウムを開催します

鹿屋市で予想される災害(河川氾濫、土砂災害、地震、桜島噴火等)に対し、市民一人ひとりが日常で何ができ、また、どのような準備が必要か、そして災害時にどう対応すべきか知ることのできるシンポジウムです。ぜひご参加ください。

鹿屋市安全安心課 Tel.0994-31-1124

日時 5月17日(土) 13:30～16:30

場所 リナシティかのや 3階大ホール

入場無料

内容 講演①「桜島大噴火に備えて」(京都大学 教授 井口 正人氏)
講演②「平成29年7月九州北部豪雨における流木災害から得た教訓」(九州大学大学院工学研究院 教授 矢野 真一郎氏)



井口 正人氏



矢野 真一郎氏